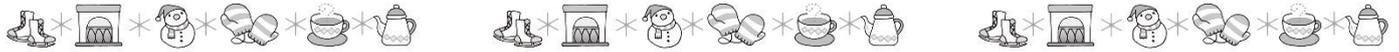


# ほけんだんまつり 2月

令和3年2月15日  
 昭島市立共成小学校  
 校長 佐伯 孝司  
 保 健 室  
 1 ~ 3 年 生 用

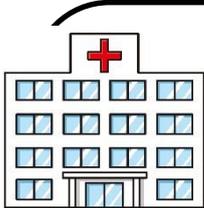
少しずつあたたかくなり「もうすぐ春かな？」と感じるころ、はながムズムズしたら花粉しょうかもしれません。まだまだ感せんしょうにも気をつけたい時期ですが、どちらにも負けない体を作るポイントは同じです。「早ね早起き・バランスのいい食事・適度な運動」を心がけて元気に過ごしましょう。



わたしたちのけんこうを支えてくれる  
 人たちに感しゃの気持ちをもとう！



わたしたちの「いのち」と「けんこう」を守るために、どのような人たちがはたらいているのでしょうか？



病院には、いし・かんごし・やくざいしのほかにも、受付や会計を担当する事務・調理員などもはたらいています。



ほけん所は、地いきの人たちのけんこうを守るためにいろいろな活動をしています。



現在、感せんしょうのばく発的な流行により、いりょう・ほけん関係者の人たちは仕事が長時間にわたったり、必要な物が不足したり、不当な差別を受けたりと、かなしい思いをしています。

わたしたちの命とけんこうを守るために働いている方たちについて知り、「ありがとう」の気持ちをもちましょう。そして、一人一人ができることを考え、行動しましょう。

ほかにも、様々な人たちによりわたしたちの生活は支えられています。あなたの周りにはどのような人がいますか？その人を思いうかべ、感しゃの気持ちを一言書いてみましょう。

\_\_\_\_\_



# 愿げんだより2月

令和2年2月15日  
昭島市立共成小学校  
校長 佐伯 孝司  
保 健 室  
4 ~ 6 年 生 用

2月の別名に梅見月うめみつきがあります。梅は厳しい寒さの後、春の訪れを告げる花です。今年で3年目の「令和」も、そんな梅みたいに一人一人が大きな花を咲かせられますように願ってつけられた。ウイルスに負けずに寒さを乗り越えて、元気に春を迎えたいですね。

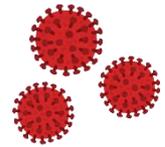


## もう一度確認！ 感染症しょうから生まれる差別・偏見へんけんをなくしましょう

### 【感染症から差別や偏見が生まれる理由】

人は、目に見えないウイルスに対する不安やおそれを、目に見えるものにすり替えます。感染症にかかった人や、特定の地域・職業の人など、実際に目に見える感染症を連想させる人や場所などをさげたり遠ざけたりする気持ちや行動が「差別や偏見」につながっています。

目では見えないウイルスに対する不安やおそれ



感染症にかかった人、その家族・地域や学校を“敵”てきとみなして嫌悪けんおの対象とする

嫌悪の対象を差別して遠ざけることで安心感を得る



新型コロナウイルス感染症をふくめ、感染症はだれでもかかる可能性があります。戦うべき相手は人ではなくウイルスです。感染症への正しい理解と思いやりの心で不安な気持ち乗り越えましょう。

### 【差別や偏見に対して、何ができる？】

感染症が流行しているときに、次のようなことが起こりました。あなたは、それぞれについてどのように感じますか？またその後、どのようなことが起きると思いますか？

- 学校が休校になったとき、「〇年〇組の子が△△△△になったから」「〇〇のお父さんが最初にかかったらしい」など、犯人探しはんんにんをするかのように、うわさが広まった。
- 感染症のクラスターが発生した学校に対して抗議こうぎの電話やメールが多く寄せられ、子供たちの写真がSNSやインターネット上で広められた。



悲しい思い、苦しい思いをしている人の立場や気持ちを想像してみましょう。こうした想像の積み重ねが「思いやり」となります。こうした思いやりを広げられるみなさんであって欲しいと思います。

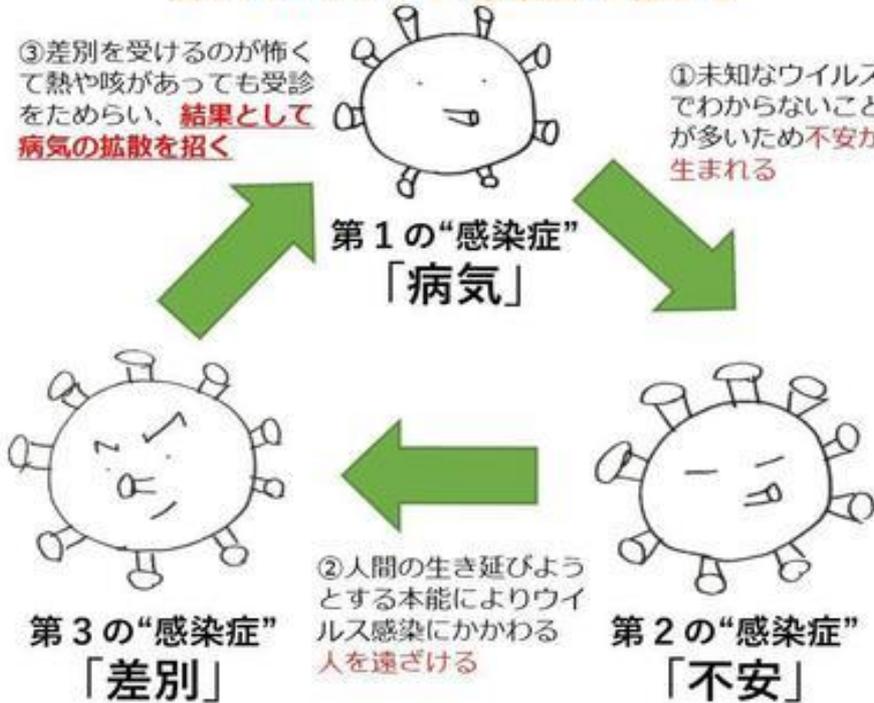
お家の方と一緒に読みましょう

緊急事態宣言が延長され、不要不急の外出自粛や予防対策について、引き続き積極的なご協力ありがとうございます。東京都においては新規感染者が減少傾向にあります、「自分や家族が感染するかもしれない」「いつになったら安心して外出できるのか」など不安はまだあります。そのような中で、感染者や感染者のご家族、医療従事者の方々に対して偏見や差別をするような言動を見たり聞いたりしたことはありませんか？テレビのニュースを見ながら、「あの人コロナになったらしいわよ。怖いよね。」など何気ない会話を子供たちは聞いているかもしれません。感染症に対する大人たちの反応は、子供に大きく影響します。学校でも指導を重ねていきますが、ご家庭においてもご指導をよろしくお願いします。



負のスパイラルで“感染症”が拡がる

この“感染症”の怖さは、病気が不安を呼び、不安が差別を生み、差別が更なる病気の拡散につながることで。



3つの“感染症”は どうつながっているの？

第3の“感染症”を  
ふせぐために

みなさんそれぞれの場所で感染を拡大しないように頑張っています。

- ・小さな子どもがいる家庭
- ・高齢者
- ・治療を受けている人とその家族
- ・自宅待機している人
- ・医療従事者
- ・日常生活を送って社会を支えている人

この事態に対応しているすべての方々を  
ねぎらい、敬意を払いましょう。